

波紋 *Ripple*

発行者：森松株式会社 編集者：小原龍一
小坂美香
松井宣和
伊藤雅典

創刊号：1985年7月

No. 308号

平成23年2月
2011 Feb.

信念会



2011年1月5日、恒例の「元気が出る信念会」を栄ラグナスイートホテルにて開催させて頂きました。来場者の方々の席は昨年同様「くじ引き」で決めさせて頂く様にしました。今までは、実行委員長が司会をするのですが、今年の司会は森社長の奈津子夫人にお願いし、とてもスムーズに進行させることができました。

アキレス(株)豊田部長の乾杯の音頭の前に「塩ビ ものづくりコンテスト 2011」の説明もありました。恒例となっている(株)クロカワケイティ黒川社長の差し入れの「スズメバチの焼酎漬け」・徳島名産のすだち焼酎などが並び、料理とお酒で会場内も和んできた頃、今回で2回目となる「ヨガ教室」を高塚奈緒先生の指導でおこない、終始とても和気藹々とした様子でした。お忙しい中、ご出席頂きました来場者の皆様、本当に有難うございました。来場者の方々のご協力、社員全員の協力のお陰で、無事に開催する事が出来ました。 本当に有難うございました。



幹事：岩間 正美

「ネットワーク」

社長 森 直樹



新年も、はや一ヶ月を過ぎました。
先日映画、「ソーシャルネットワーク」を見ました。
2004年に創業し、今や全世界で5億人が利用しているソーシャルネットワーク(ネットの交流サイト)、「フェイスブック」(facebook.com)の創業者でありCEO、マーク・ザッカーバーグがモデルの映画です。ハーバード大の学生が立ち上げた学内向けの交流サイトが、他大学へ広がり、そして一般向けに、世界にと、最終的に世界最年少の億万長者を生み出すほどの価値を持つ、とこの映画ではネットサービスというアイデアが巨万の富を生む現代、を垣間見ることが出来ます。

世界の隅々までパソコンや携帯電話で繋がっている現在、ネットが過去の友人や海外の友人を補完する事が出来、生まれた時から携帯電話、ネットがあるこれからの世代には、ネットでの人間関係と実際の関係の境目が非常に低いものになるでしょう。もちろん、メールでのコミュニケーションだけでは不十分ですが、まったくこれまで繋がりが得なかった世界と繋がれることは、ビジネスのみならず大きな可能性が開かれていると思います。

すでに日本の製造業でもこれまで繋がりの無かった工場同士をつなぐ、「NCネットワーク」(www.nc-net.or.jp)というサイトもあり、これによって自分たちの周辺では見つけることの出来なかった加工業者に仕事を依頼したり、逆に仕事を受けるといったことが可能になっています。このフェイスブックをはじめとしたソーシャルネットワークが、今後どの様な形で発展、浸透していくか楽しみです。

「我が家の猫」

成瀬 勝英(製造部)



猫を飼い始めて10年が経つ。飼う事になった切っ掛けは次男が小学6年生の頃、近所で腹に怪我をして今にも死に掛けの子猫を見たという話を聞いて気になり、見に行き助けてしまった事である。動物病院に保険もなく治療費も2万円程掛ったが、問題は2人の子供が動物アレルギーで触る事もままならないのに、家で飼えるのか?と言う問題だった。動物好きは家族の共通点では有るが子供の体質で飼えなかつたのである。案の定、毛並みを素手で撫でて目でも擦ろうものなら真赤に目を腫れさせた。それでも飼いたいという子供の一途さで飼う事にはなつたのだが条件として、猫の行動半径は家具に縛つた首紐の長さ1mのみ。抜け落ちた毛に体質が反応しアレルギー喘息を悪化させる要因になる為である。(日本一縄張りが少ない猫)名前をジジと名付けて(キジ猫)病気になる事もなく、現在に至る。面白い事にこの猫は、夜のお休みと朝の行つてらっしゃいの挨拶を(ニヤールと一声)欠かさない。家族の中の私にだけ反応らしい、一番好きな人は妻らしいが(オスだから?)妻の足には擦り寄るが近くに居ても、ただ横に黙って並んで座っている。休日の朝などは家族の起きる時間が遅くなり腹が減って鳴くのだが、遠慮がちに妻だけに聞こえるような小声で呼んでいる様は私に気遣っていると思えない。何の役にもたない猫だが、お陰で抜け毛掃除の為、その部屋はいつも清潔が保たれ家族の心を和ませる居場所になつていているようだ。猫の10年という年は人間で例えると70歳に相当するらしい。ジジではなくジジイになつてしまつたが、子供たちの成長過程で何かと関わり合い、思いやる気持ちや最後まで責任を負う事を自然に体験させる意味では十分役に立っていると思う。時々、妻が猫に対する言葉使いと、私に対する言葉使いに優しさの違いを感じる事が有るのだが...

(嫉妬)



「昨年の10倍」

伊藤 雅典(製造部)



これ、何の数字か分かりますか。お持ちの方には最悪の数字です。そうです、環境省が昨年12月末に公表した今年の花粉総飛散量です。今年の春(1月末から5月)は、東北から近畿にかけてスギやヒノキの花粉量が昨年より爆発的に増えるのとこのどさうです。しかし、東海地方の昨シーズンの花粉飛散量は他の地域に比べて少なかつたらしく、10倍以上になるような予測もありますので、あしからず。スギやヒノキ科の花粉は前年の7月から8月前半の日照時間や気温に大きく左右されるそうです。そう言えば良く晴れてめっちゃ暑い夏でしたね。私も花粉症持ちの一人です。最近、鼻水とくしゃみが出るなと思つていましたが、寒さのせいだと思つていました。しかしながら原因は寒さだけではなかつたようです。私より重症の室内はすでに、薬を飲んでいるとのことでした。花粉症をお持ちの皆さんは薬を飲んだり、いろいろ対策をしているようですが、なかには、レーザーなどで鼻の粘膜を焼いたりする方法もあるそうです。根本的には的確な即効的な治療方法はないそうです。が、いろんな複合的な要因(過保護な幼児期・低体温の増加・ストレス・住環境の変化・花粉の増加・食生活の変化・大気汚染・舗装道路)が重なり合つて免疫力のバランスが崩れてしまつたからだそうです。つまり、原因がいろいろありすぎて治療の仕様がなつたことと。一言で言えば体質改善と言つたことと。ろでしようか。私は、数年前胃潰瘍をわずらつたこともあり、毎朝ヨーグルトを家内が出してくるので食べています。おかげで胃腸の具合は良くなり、また以前に比べれば花粉症も緩和されたような気はします。また、外から帰ったときは必ず石鹸での手洗い・うがい・鼻の中の洗浄を心がけています。



冬季 読後感



「伝える力」 池上 彰 (著)

とりあえずは誰が読んでも役に立つような内容ですが、目からウロコのコミュニケーション術を紹介しているわけではなくて、普段の聞く、話す、書く、読む作業を掘り下げてみればできるようなことがまとめられています。きっと難しいのはそれらを実践することなのでしょうね。そういう意味では普段のコミュニケーションを見直すきっかけになる一冊になりました。以下は簡単な抜粋と感想です。

●声が小さいとか自信の無い態度では、たとえ言っていることの中身が良くても、聞き手の心を動かすことはできない。自信をもつこと。聞き手の目をしっかり見ること。

とにかく「謙虚な態度」と「自信のない態度」を混同しないことが大切だと思います。

●安易な揶揄は禁物。何より好意と愛情を持って話すことが大前提です。毒舌は多くの場合、聞く側の人への聞き取れなさを喪失させます。芸能人で毒舌が受け入れられる人も居ますが、高度な技なので手を出さないほうが良いでしょう。素人は毒舌は吐かないに限ります。

●わかりやすく伝える。「簡単なことは簡単に」「難しいことも簡単に」著者は記者の訓練を受けていたとき「中学生にもわかる原稿を書け」と指導されていたそうです。人はそれぞれ仕事や趣味などで得意分野を持っています。それぞれの分野では常識とされる知識も、その分野に興味のない人からすると、まったくのチンプンカンプンだったりします。まったく予備知識のない人にも物事をわかりやすく伝えられてこそ、本当の「伝える力」なんですね。

我々の様に年配になってくると、専門用語が伝わらない顧客先でも新人担当者との接触も多い。相手にどの程度伝わっているかを意識しながらしゃべらないと後で痛い目を見るのはこっちなのである。

●文章力を向上させるには、新聞のコラムを要約するのがおすすめ。要約することを前提にして読むと、文章をより深く理解しようとする。言いたいことは要するに何なのか、必ずしも必要でないところはどこなのか、などを考えながら読むことになる。また、書く時、話す時、発想する時には、もう一人の客観的な自分でツッコミを入れる。一人ブレインストーミング。そうやって弱点を修正していく。などという訓練を常に心がけることが、伝える力の向上に繋がるのだそうだ。継続は難しいがモットもである。

●文章力を高めるためには「そして」「それから」などの接続詞をなるべく使わない。文章が論理的であれば、「そして」や「それから」は不要なはずです。

そう言われると、反省してしまいます。気を付けます。

●図解には3つの効果がある。

1、自分が何かを理解するときの手助けになる。

2、文字だけではつながらなかった思考が、図解することにつながり、アイデアや企画が生まれることがある。

3、人に何かを伝えるときに役立つ。三番目の事だけに使っていたが、そう言われれば1、とか2、もいつも感じている事である。

●幅広いアウトプットのために奥深いインプット。とくに読書。ビジネス書よりも小説などで表現力や想像力を向上させる。

確かに小説に限らず、自分の好きな分野の本を読む事で文章表現の参考になると思う。

●総論として、池上さんが書いた本だからこそ売れるのだろうか、と思いました。

テレビも本屋も、ちょっと前は「茂木バブル」で、最近「池上バブル」ですね。年内弾けずに行くといいけどね。

牧野 光昌 (企画営業部)



書き初め



● 毎年恒例の書初めが今年も同様に行われ
 ● ました。一年間の目標を公私に分けて書い
 ● た内容が実現するように一年間気を引き締
 ● めて実践していきましょう。

2月の予定

- 5日(土) 第1土曜日休み
 - 11日(金) 建国記念の日
 - 12日(土) 第2土曜日休み
 - 15日(火) 村田恒夫さん誕生日
 - 19日(土) 第3土曜日休み
 - 24日(木) 光田昭男さん誕生日
 - 25日(金) CS向上会議 14時10分～15時
 - 26日(土) 第4土曜日休み
 - 28日(月) 藤木方子さん誕生日
- 経営会議 15時30分～16時30分
- 生産会議 18時～19時

